

(2) 各部門の研究内容等

部門	教 員	研 究 内 容
環 境 ・ 社 会 基 盤 工 学 部 門	教 授 伊藤 始	<p>橋梁やトンネルなどのコンクリート構造物を長期間にわたり安全かつ快適に利用するための技術を、実験や解析を用いて研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの内部応力の検査技術 ・コンクリートのひび割れ抑制技術 ・コンクリートへのフライアッシュの有効利用
	教 授 川上 智規	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料水や排水からのフッ素化合物の除去法の開発 ・大気中水銀の発生源と挙動に関する研究
	教 授 高橋 剛一郎*	<ul style="list-style-type: none"> ・応用生態工学的視点からみた流域保全工事の評価と技術開発 ・河川における瀬・淵構造ならびに微地形などに関する研究 ・魚道の機能、構造、効果に関する研究
	教 授 脇坂 暢	<p>低炭素社会を支えるエネルギーキャリア製造・貯蔵・利用技術の創出・確立に向けた研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素エネルギーキャリアの合成。 ・燃料電池反応機構の解析。 ・光触媒や電解による新規有機合成経路の探求。
	教 授 渡辺 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・越境汚染物質や黄砂粒子の動態と北陸地方の自然環境への影響評価 ・立山等における大気水圏環境の観測的研究 ・大気の物理・化学的研究 ・大気エアロゾルの動態に関する研究
	准教授 内田 慎哉	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の非破壊評価技術を融合した社会基盤施設の診断システムの構築 ・非破壊評価技術の装置・ロボットの開発やその社会実装 ・火災で劣化したコンクリート構造物の非破壊による診断技術の開発 ・社会基盤施設の性能評価手法および劣化予測手法
	准教授 呉 修一	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム洪水氾濫予測手法の開発 ・実践的防災学・心理学に基づく洪水リスク評価 ・領域気象モデルを用いた降雨の将来予測と過去の再現 ・富山県沿岸部における津波・高波予測手法の開発
	准教授 黒田 啓介	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動や災害が水環境や水システムに与える影響の調査 ・分散型水システムに関する調査や水処理技術の開発 ・新規微量化学物質の環境排出と環境動態の解明
	准教授 坂本 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・水圏生態系の構造を決定する生物間相互作用に関する研究 ・人間活動由来の化学物質による水圏生態系への影響の評価 ・生態学的視点での湖沼環境の管理に関する研究
准教授 立田 真文	<ul style="list-style-type: none"> ・もみ殻シリカのジオポリマー利用 ・もみ殻シリカのナノ構造体の作製 ・循環資源の応用と物性の解析 ・省エネルギーの展開 	

部門	教 員	研 究 内 容
環境・社会基盤工学部門	准教授 手計 太一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジア域における気候変動に伴う水循環変化 ・ 北陸地域における降雪量の将来変化予測 ・ 富山県における地下水賦存量の評価 ・ 河川土砂量を定量的に計測する技術開発 ・ 塩淡二層流の水理現象
	准教授 中村 秀規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災後のエネルギー環境政策に関する討議への市民参加の可能性に関する研究 ・ 市民からの環境ガバナンスの研究 ・ 2030 アジェンダ／SDGs の道徳および科学基盤の探求
	准教授 古谷 元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境下における地盤強度の低下過程の解明 ・ 地すべり・斜面崩壊に関与する流動地下水経路の解明 ・ 長距離土砂移動現象の解明と土砂移動範囲の予測 ・ マスマーブメントに起因する自然環境への影響評価
	准教授 星川 圭介	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地・水資源管理の適正化に関する研究 ・ 東南アジア巨大デルタの洪水対応に関する研究 ・ 衛星リモートセンシングデータ解析技術の開発

※の教員については、令和3年度入学者の志望対象とはしません。